

はまぎん高格付国債ファンド（為替ヘッジ70） 〈愛称 オールラウンダー〉

償還 運用報告書（全体版）

第78期（決算日 2019年6月3日） 第80期（決算日 2019年8月1日）
第79期（決算日 2019年7月1日） 第81期（償還）（償還日 2019年8月26日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
「はまぎん高格付国債ファンド（為替ヘッジ70）」は、信託約款の規定に基づき、2019年8月26日に信託期間が終了し、償還いたしました。
ここに、設定以来の運用状況と償還内容をご報告いたしますとともに、受益者のみなさまのご愛顧に對しまして、重ねてお礼申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2012年12月10日から2019年8月26日までです。	
運用方針	主として「世界国債マザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	はまぎん高格付国債ファンド （為替ヘッジ70）	「世界国債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	世界国債マザーファンド	世界中長期ソブリン債券（国債、州政府債、政府保証債、政府機関債、国際機関債などをいいます。）を主要投資対象とします。
組入制限	はまぎん高格付国債ファンド （為替ヘッジ70）	株式への実質投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	世界国債マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期から第2計算期までは収益分配を行ないません。第3計算期以降、毎決算時、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

<641898>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近28期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	準価額			債組 入比	券率 %	純資 産額
		税分	込配	み金 期騰落			
	円 銭		円				百万円
54期(2017年6月1日)	9,511		20		1.0	91.7	349
55期(2017年7月3日)	9,420		20		△0.7	96.4	333
56期(2017年8月1日)	9,401		20		0.0	97.3	329
57期(2017年9月1日)	9,452		20		0.8	95.2	322
58期(2017年10月2日)	9,356		20		△0.8	97.2	302
59期(2017年11月1日)	9,362		20		0.3	90.9	299
60期(2017年12月1日)	9,356		20		0.1	94.3	295
61期(2018年1月4日)	9,316		20		△0.2	95.0	289
62期(2018年2月1日)	9,169		20		△1.4	87.1	278
63期(2018年3月1日)	8,982		20		△1.8	92.5	256
64期(2018年4月2日)	9,024		20		0.7	93.7	255
65期(2018年5月1日)	8,990		20		△0.2	93.1	245
66期(2018年6月1日)	9,020		20		0.6	90.5	246
67期(2018年7月2日)	9,022		20		0.2	92.7	244
68期(2018年8月1日)	8,966		20		△0.4	93.8	239
69期(2018年9月3日)	8,943		20		△0.0	94.6	235
70期(2018年10月1日)	8,919		20		△0.0	91.6	234
71期(2018年11月1日)	8,809		20		△1.0	94.6	231
72期(2018年12月3日)	8,901		20		1.3	95.4	234
73期(2019年1月4日)	8,859		20		△0.2	92.0	228
74期(2019年2月1日)	8,911		20		0.8	94.6	230
75期(2019年3月1日)	8,905		20		0.2	98.0	220
76期(2019年4月1日)	9,010		20		1.4	95.0	222
77期(2019年5月7日)	8,864		20		△1.4	94.1	217
78期(2019年6月3日)	8,920		20		0.9	96.0	214
79期(2019年7月1日)	9,030		20		1.5	92.6	191
80期(2019年8月1日)	9,016		20		0.1	—	183
(償還時)	(償還価額)						
81期(2019年8月26日)	9,007.61		—		△0.1	—	178

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率
			騰 落	率	
第78期	(期 首) 2019年5月7日	円 銭 8,864		% —	% 94.1
	5月末	8,902		0.4	96.1
	(期 末) 2019年6月3日	8,940		0.9	96.0
第79期	(期 首) 2019年6月3日	8,920		—	96.0
	6月末	9,038		1.3	97.0
	(期 末) 2019年7月1日	9,050		1.5	92.6
第80期	(期 首) 2019年7月1日	9,030		—	92.6
	7月末	9,036		0.1	—
	(期 末) 2019年8月1日	9,036		0.1	—
第81期	(期 首) 2019年8月1日	9,016		—	—
	(償還時) 2019年8月26日	(償還価額) 9,007.61		△0.1	—

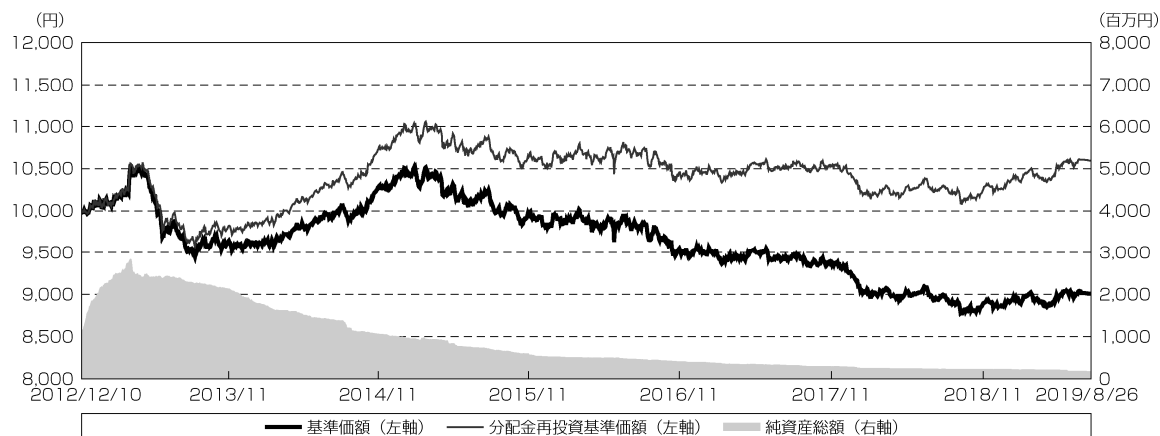
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2012年12月10日～2019年8月26日）

設定以来の基準価額等の推移



設 定 日：10,000円
 第81期末（償還日）：9,007円61銭（既払分配金（税込み）：1,560円）
 騰 落 率：6.0%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界の高格付国の国債を中心に、中長期のソブリン債券に実質的に投資を行なうとともに、原則として、純資産総額の70%を目標として対円での為替ヘッジを行なうことにより、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっておりまいた。信託期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

- ・保有債券からの利息収入を得たこと。
- ・保有債券の利回り低下（債券価格は上昇）に伴うキャピタルゲインを得たこと。

＜値下がり要因＞

- ・カナダドル、ノルウェークローネ、オーストラリアドルが円に対して下落したこと。

投資環境

（債券市況）

期間中、投資対象とするカナダ、ノルウェー、オーストラリアの国債利回りは低下しました。

設定時から2013年12月下旬にかけては、総選挙で多数派勢力が誕生せず混迷が続いたイタリア政局の行方やキプロスの金融支援策を巡る混乱などが利回りの低下要因となったものの、米国や欧州の景気回復を示唆する経済指標の発表を受けて債券への逃避需要が後退したことや、ノルウェーでは国債発行の増額による債券市場の需給悪化が懸念されたことなども影響したことから、カナダ、ノルウェー、オーストラリアの国債利回りは上昇（債券価格は下落）しました。2014年1月上旬から2016年7月上旬にかけては、世界経済の成長鈍化懸念や、ウクライナや中東における地政学的リスクの高まり、国民投票により英国の欧州連合（EU）離脱が決定し投資家の安全資産への逃避需要が強まったこと、カナダやノルウェー、オーストラリアの中央銀行が政策金利の引き下げを決定したことなどを受けて、カナダ、ノルウェー、オーストラリアの国債利回りは低下しました。2016年7月中旬から2018年10月上旬にかけては、米国と中国との間の貿易摩擦の激化による世界経済の成長鈍化懸念が広がったことなどが利回りの低下要因となったものの、米国連邦準備制度理事会（FRB）やカナダ、ノルウェーの中央銀行による政策金利の引き上げ、米政権による積極的な景気刺激策が財政赤字の拡大とインフレ期待につながるとの見方が強まったこと、また、欧州中央銀行（ECB）が量的緩和を2018年末で終了するとの方針を決定したことなどから、カナダ、ノルウェー、オーストラリアの国債利回りは上昇しました。2018年10月中旬から償還時にかけては、米中間の貿易摩擦の深刻化や世界的な景気を巡る懸念の高まりなどから各国中央銀行における追加緩和政策への期待が強まるなか、FRBやオーストラリア準備銀行（RBA）による利下げの実施や、軟調な米国やユーロ圏、ドイツの景況感指数の発表などを背景に、カナダ、ノルウェー、オーストラリアの国債利回りは低下しました。

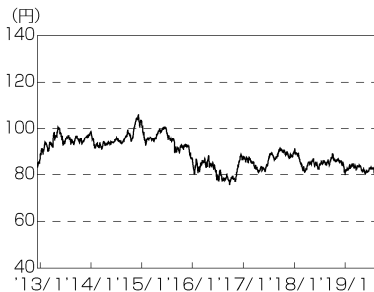
（為替市況）

信託期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

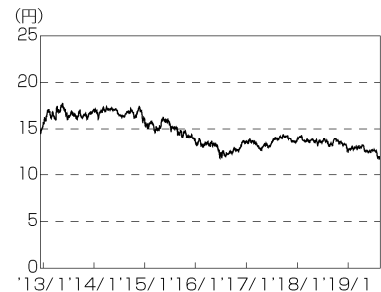
円／オーストラリアドルの推移



円／カナダドルの推移



円／ノルウェークローネの推移



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「世界国債マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

当ファンドは2012年12月10日の設定以来、約6年8ヵ月にわたり運用してまいりました。このたび、約款の規定に基づき、信託終了日を2019年8月26日として償還いたしました。

これまでのみなさまのご愛顧に対しまして、心より厚くお礼申し上げますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

（世界国債マザーファンド）

世界各国の長期債利回り、短期金利の水準、投資可能な銘柄やその流動性を考慮してポートフォリオを構築しました。

為替ヘッジあり部分の70%、為替ヘッジなし部分の30%の両方について、期間を通じてカナダ、ノルウェー、オーストラリアを投資対象としました。期間中、長期金利の水準に合わせて各通貨の投資比率の調整を行ないました。

また2019年8月に繰上償還となることが決定したことから、2019年7月末に円キャッシュのみを保有する安定運用に切り替えました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

信託期間中における分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案して決定し、1万口当たりの累計は1,560円（税込）となりました。また、第78期から第80期における分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりとしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたしました。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第78期	第79期	第80期
	2019年5月8日～ 2019年6月3日	2019年6月4日～ 2019年7月1日	2019年7月2日～ 2019年8月1日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 0.224%	20 0.221%	20 0.221%
当期の収益	11	12	7
当期の収益以外	8	7	12
翌期繰越分配対象額	273	266	253

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年5月8日～2019年8月26日)

項 目	第78期～第81期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	19	0.206	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(9)	(0.098)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(9)	(0.098)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.010)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	7	0.078	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.049)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(3)	(0.029)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	26	0.284	
作成期間の平均基準価額は、8,992円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

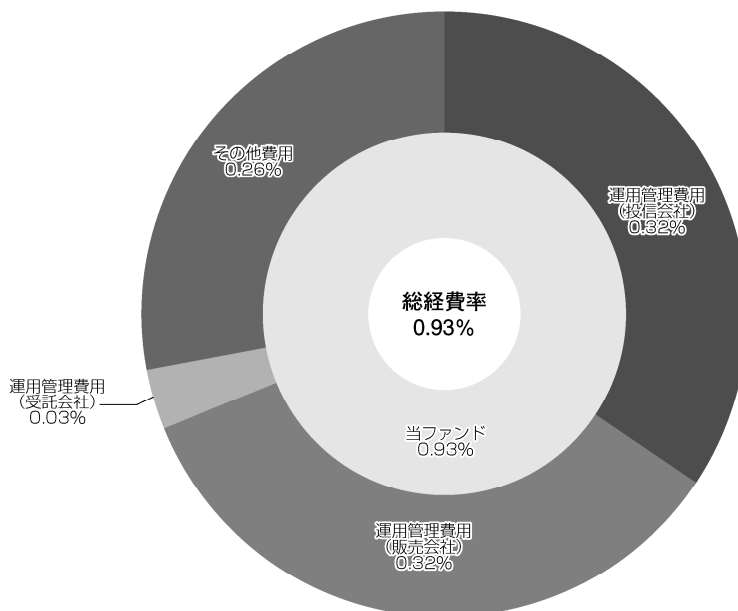
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごと小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.93%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2019年5月8日～2019年8月26日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第78期～第81期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
世界国債マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 194,906	千円 217,791

○利害関係人との取引状況等

（2019年5月8日～2019年8月26日）

利害関係人との取引状況

〈はまぎん高格付国債ファンド（為替ヘッジ70）〉

区 分	第78期～第81期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 25	百万円 25	% 100.0	百万円 25	百万円 25	% 100.0

〈世界国債マザーファンド〉

区 分	第78期～第81期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 12	百万円 12	% 100.0	百万円 12	百万円 12	% 100.0

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2019年5月8日～2019年8月26日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2019年5月8日～2019年8月26日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2019年8月26日現在)

2019年8月26日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘	柄	第77期末	
		口	数
世界国債マザーファンド			千口 194,906

○投資信託財産の構成

(2019年8月26日現在)

項	目	債		還		時	
		評	価	額	比	率	
コール・ローン等、その他				千円 178,472			% 100.0
投資信託財産総額				178,472			100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び償還（基準）価額の状況

項 目	第78期末	第79期末	第80期末	償 還 時
	2019年6月3日現在	2019年7月1日現在	2019年8月1日現在	2019年8月26日現在
	円	円	円	円
(A) 資産	215,578,869	208,315,785	184,501,060	178,472,781
コール・ローン等	5,490,178	5,278,867	4,677,515	178,472,781
世界国債マザーファンド(評価額)	210,088,691	186,930,866	179,244,326	—
未収入金	—	16,106,052	579,219	—
(B) 負債	717,384	16,579,625	672,383	254,279
未払収益分配金	481,766	424,649	407,778	—
未払解約金	—	15,901,886	—	—
未払信託報酬	108,501	110,445	106,949	84,637
未払利息	6	4	7	233
その他未払費用	127,111	142,641	157,649	169,409
(C) 純資産総額(A-B)	214,861,485	191,736,160	183,828,677	178,218,502
元本	240,883,295	212,324,519	203,889,435	197,853,301
次期繰越損益金	△ 26,021,810	△ 20,588,359	△ 20,060,758	—
償還差損金	—	—	—	△ 19,634,799
(D) 受益権総口数	240,883,295口	212,324,519口	203,889,435口	197,853,301口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,920円	9,030円	9,016円	—
1万口当たり償還価額(C/D)	—	—	—	9,007円61銭

(注) 当ファンドの第78期首元本額は245,241,363円、第78～81期中追加設定元本額は1,325,345円、第78～81期中一部解約元本額は48,713,407円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第78期0.8920円、第79期0.9030円、第80期0.9016円、第81期0.900761円です。

(注) 2019年8月26日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は19,634,799円です。

○損益の状況

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期
	2019年5月8日～ 2019年6月3日	2019年6月4日～ 2019年7月1日	2019年7月2日～ 2019年8月1日	2019年8月2日～ 2019年8月26日
	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 158	△ 152	△ 212	△ 350
支払利息	△ 158	△ 152	△ 212	△ 350
(B) 有価証券売買損益	1,948,019	2,899,623	241,605	△ 70,461
売買益	1,954,069	3,194,164	251,251	1
売買損	△ 6,050	△ 294,541	△ 9,646	△ 70,462
(C) 信託報酬等	△ 124,478	△ 126,654	△ 122,681	△ 97,101
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,823,383	2,772,817	118,712	△ 167,912
(E) 前期繰越損益金	△28,262,399	△23,700,337	△20,450,558	△20,107,026
(F) 追加信託差損益金	898,972	763,810	678,866	640,139
(配当等相当額)	(5,454,209)	(4,809,089)	(4,620,438)	(4,484,867)
(売買損益相当額)	(△ 4,555,237)	(△ 4,045,279)	(△ 3,941,572)	(△ 3,844,728)
(G) 計(D+E+F)	△25,540,044	△20,163,710	△19,652,980	—
(H) 収益分配金	△ 481,766	△ 424,649	△ 407,778	—
次期繰越損益金(G+H)	△26,021,810	△20,588,359	△20,060,758	—
償還差損金(D+E+F+H)	—	—	—	△19,634,799
追加信託差損益金	898,972	763,810	678,866	—
(配当等相当額)	(5,454,545)	(4,809,402)	(4,621,175)	(—)
(売買損益相当額)	(△ 4,555,573)	(△ 4,045,592)	(△ 3,942,309)	(—)
分配準備積立金	1,133,252	838,581	552,193	—
繰越損益金	△28,054,034	△22,190,750	△21,291,817	—

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2019年5月8日～2019年8月1日)は以下の通りです。

項 目	2019年5月8日～ 2019年6月3日	2019年6月4日～ 2019年7月1日	2019年7月2日～ 2019年8月1日
a. 配当等収益(経費控除後)	277,338円	265,545円	156,799円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	5,454,545円	4,809,402円	4,621,175円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	1,337,680円	997,685円	803,172円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	7,069,563円	6,072,632円	5,581,146円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	293円	286円	273円
g. 分配金	481,766円	424,649円	407,778円
h. 分配金(1万口当たり)	20円	20円	20円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2012年12月10日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2019年8月26日			資産総額	178,472,781円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	254,279円	
				純資産総額	178,218,502円	
受益権口数	1,166,893,803口	197,853,301口	△969,040,502口	受益権口数	197,853,301口	
元本額	1,166,893,803円	197,853,301円	△969,040,502円	1万口当たり償還金	9,007円61銭	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金		
				金額	分配率	
第1期	1,813,252,252円	1,823,685,424円	10,058円	－円	－%	
第2期	2,167,071,776	2,182,812,700	10,073	－	－	
第3期	2,437,234,284	2,466,045,564	10,118	20	0.2	
第4期	2,678,019,889	2,740,486,726	10,233	20	0.2	
第5期	2,345,762,783	2,458,246,315	10,480	20	0.2	
第6期	2,367,927,717	2,411,572,852	10,184	20	0.2	
第7期	2,473,938,283	2,416,289,979	9,767	20	0.2	
第8期	2,455,638,120	2,386,664,796	9,719	20	0.2	
第9期	2,395,934,106	2,282,695,453	9,527	20	0.2	
第10期	2,334,346,124	2,250,778,251	9,642	20	0.2	
第11期	2,246,903,279	2,171,939,727	9,666	20	0.2	
第12期	2,219,370,228	2,136,702,952	9,628	20	0.2	
第13期	2,055,218,284	1,962,392,122	9,548	20	0.2	
第14期	1,901,570,966	1,826,394,969	9,605	20	0.2	
第15期	1,819,456,608	1,751,081,069	9,624	20	0.2	
第16期	1,685,953,823	1,632,136,269	9,681	20	0.2	
第17期	1,643,049,038	1,596,186,813	9,715	20	0.2	
第18期	1,556,730,260	1,531,485,903	9,838	20	0.2	
第19期	1,468,409,970	1,452,080,206	9,889	20	0.2	
第20期	1,427,865,689	1,415,301,565	9,912	20	0.2	
第21期	1,372,286,352	1,380,856,786	10,062	20	0.2	
第22期	1,140,293,941	1,135,121,178	9,955	20	0.2	
第23期	1,098,777,457	1,110,831,506	10,110	20	0.2	
第24期	1,037,959,248	1,068,222,163	10,292	20	0.2	
第25期	988,095,278	1,019,045,970	10,313	20	0.2	
第26期	930,959,065	974,352,730	10,466	20	0.2	
第27期	908,320,073	953,568,450	10,498	20	0.2	
第28期	902,864,492	938,221,313	10,392	20	0.2	
第29期	898,180,317	927,873,469	10,331	20	0.2	
第30期	814,612,074	840,608,787	10,319	20	0.2	

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第31期	751,702,260円	761,542,672円	10,131円	20円	0.2%
第32期	725,071,048	737,097,156	10,166	20	0.2
第33期	690,315,557	694,312,925	10,058	20	0.2
第34期	659,809,426	658,099,702	9,974	20	0.2
第35期	620,044,271	617,716,102	9,962	20	0.2
第36期	575,348,271	572,298,493	9,947	20	0.2
第37期	541,149,352	534,454,627	9,876	20	0.2
第38期	530,715,172	527,894,467	9,947	20	0.2
第39期	520,063,296	511,487,648	9,835	20	0.2
第40期	510,958,038	511,347,860	10,008	20	0.2
第41期	510,642,729	497,749,377	9,748	20	0.2
第42期	505,826,493	496,333,889	9,812	20	0.2
第43期	508,464,612	500,962,251	9,852	20	0.2
第44期	482,052,850	474,963,556	9,853	20	0.2
第45期	467,906,562	460,640,469	9,845	20	0.2
第46期	459,574,352	450,297,710	9,798	20	0.2
第47期	446,969,530	429,672,275	9,613	20	0.2
第48期	432,817,824	412,695,703	9,535	20	0.2
第49期	417,919,767	397,614,281	9,514	20	0.2
第50期	415,373,223	394,337,402	9,494	20	0.2
第51期	397,154,192	377,312,793	9,500	20	0.2
第52期	376,260,505	354,887,792	9,432	20	0.2
第53期	369,076,252	348,232,125	9,435	20	0.2
第54期	367,055,872	349,098,351	9,511	20	0.2
第55期	353,938,449	333,413,685	9,420	20	0.2
第56期	349,988,311	329,026,646	9,401	20	0.2
第57期	341,366,676	322,645,872	9,452	20	0.2
第58期	323,793,536	302,957,144	9,356	20	0.2
第59期	319,875,038	299,474,044	9,362	20	0.2
第60期	316,077,203	295,727,797	9,356	20	0.2
第61期	310,597,415	289,352,297	9,316	20	0.2
第62期	303,675,175	278,443,140	9,169	20	0.2
第63期	285,204,579	256,178,586	8,982	20	0.2
第64期	283,412,675	255,747,647	9,024	20	0.2
第65期	273,355,254	245,746,881	8,990	20	0.2
第66期	273,259,821	246,475,040	9,020	20	0.2
第67期	270,928,704	244,442,983	9,022	20	0.2
第68期	267,084,934	239,479,309	8,966	20	0.2
第69期	263,024,640	235,210,762	8,943	20	0.2

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第70期	263,403,007円	234,940,421円	8,919円	20円	0.2%
第71期	262,697,719	231,401,682	8,809	20	0.2
第72期	263,084,001	234,178,184	8,901	20	0.2
第73期	258,028,164	228,589,532	8,859	20	0.2
第74期	258,987,141	230,796,290	8,911	20	0.2
第75期	247,613,941	220,510,901	8,905	20	0.2
第76期	246,967,401	222,519,559	9,010	20	0.2
第77期	245,241,363	217,382,847	8,864	20	0.2
第78期	240,883,295	214,861,485	8,920	20	0.2
第79期	212,324,519	191,736,160	9,030	20	0.2
第80期	203,889,435	183,828,677	9,016	20	0.2

○分配金のお知らせ

	第78期	第79期	第80期
1 万口当たり分配金（税込み）	20円	20円	20円

○償還金のお知らせ

1 万口当たり償還金（税込み）	9,007円61銭
-----------------	-----------

○お知らせ

約款変更について

2019年5月8日から2019年8月26日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

世界国債マザーファンド

償還 運用報告書

第7期（償還）（償還日 2019年8月23日）
（2018年11月2日～2019年8月23日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2012年12月10日から2019年8月23日までです。
運用方針	主として、世界の高格付け国の国債を中心に、中長期ソブリン債券に投資し、インカム収益の確保および信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	世界の中長期ソブリン債券（国債、州政府債、政府保証債、政府機関債、国際機関債などをいいます。）を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

フ ァ ン ド 概 要

主として、世界の高格付け国の国債を中心に、中長期ソブリン債券に投資し、インカム収益の確保および信託財産の成長をめざして運用を行ないます。原則として、信託財産の純資産総額の70%に相当する部分を目標として対円で為替ヘッジを行ないます。

ポートフォリオの構築にあたっては、利回りの水準、信用力、流動性などに加えて、対円で為替ヘッジを行なう部分については為替ヘッジコストも考慮した上で、組入国やその配分比率を決定します。なお、対円で為替ヘッジを行なう部分については、海外のソブリン債券への投資に替えて日本の国債へ投資する場合があります。また、金利動向などによっては、組入債券の一部売却や先物取引などの活用により、実質的な債券組入比率を調整することがあります。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<637017>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
	円 銭		%	%	百万円
3期(2015年11月2日)	10,899		1.7	94.3	602
4期(2016年11月1日)	10,859		△0.4	93.3	418
5期(2017年11月1日)	10,934		0.7	93.0	292
6期(2018年11月1日)	10,640		△2.7	96.9	225
(償還時)	(償還価額)				
7期(2019年8月23日)	11,186.34		5.1	—	173

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首)	円 銭		%	%
2018年11月1日	10,640		—	96.9
11月末	10,755		1.1	97.4
12月末	10,741		0.9	95.9
2019年1月末	10,837		1.9	96.9
2月末	10,897		2.4	97.4
3月末	11,044		3.8	97.1
4月末	10,934		2.8	97.3
5月末	10,956		3.0	98.5
6月末	11,160		4.9	99.4
7月末	11,191		5.2	—
(償還時)	(償還価額)			
2019年8月23日	11,186.34		5.1	—

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2012年12月10日～2019年8月23日)

基準価額の推移

設定時10,000円の基準価額は、償還時に11,186円34銭となり、騰落率は+11.9%となりました。

基準価額の変動要因

信託期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・保有債券からの利息収入を得たこと。
- ・保有債券の利回り低下（債券価格は上昇）に伴うキャピタルゲインを得たこと。

<値下がり要因>

- ・カナダドル、ノルウェークローネ、オーストラリアドルが円に対して下落したこと。

(債券市況)

期間中、投資対象とするカナダ、ノルウェー、オーストラリアの国債利回りは低下しました。

設定時から2013年12月下旬にかけては、総選挙で多数派勢力が誕生せず混迷が続いたイタリア政局の行方や、キプロスの金融支援策を巡る混乱などが利回りの低下要因となったものの、米国や欧州の景気回復を示唆する経済指標の発表を受けて債券への逃避需要が後退したことや、ノルウェーでは国債発行の増額による債券市場の需給悪化が懸念されたことなども影響したことから、カナダ、ノルウェー、オーストラリアの国債利回りは上昇（債券価格は下落）しました。2014年1月上旬から2016年7月上旬にかけては、世界経済の成長鈍化懸念や、ウクライナや中東における地政学的リスクの高まり、国民投票により英国の欧州連合（EU）離脱が決定し投資家の安全資産への逃避需要が強まったこと、カナダやノルウェー、オーストラリアの中央銀行が政策金利の引き下げを決定したことなどを受けて、カナダ、ノルウェー、オーストラリアの国債利回りは低下しました。2016年7月中旬から2018年10月上旬にかけては、米国と中国の貿易摩擦の激化による世界経済の成長鈍化懸念が広がったことなどが利回りの低下要因となったものの、米国連邦準備制度理事会（FRB）やカナダ、ノルウェーの中央銀行による政策金利の引き上げ、米国政権による積極的な景気刺激策が財政赤字の拡大とインフレ期待につながるとの見方が強まったこと、また、欧州中央銀行（ECB）が量的緩和を2018年末で終了するとの方針を決定したことなどから、カナダ、ノルウェー、オーストラリアの国債利回りは上昇しました。2018年10月中旬から償還時にかけては、米中間の貿易摩擦の深刻化や世界的な景気を巡る懸念の高まりなどから各国中央銀行における追加緩和政策への期待が強まるなか、FRBやオーストラリア準備銀行（RBA）による利下げの実施や、軟調な米国やユーロ圏、ドイツの景況感指数の発表などを背景に、カナダ、ノルウェー、オーストラリアの国債利回りは低下しました。

基準価額の推移



設定時	信託期間中高値	信託期間中安値	償還時
2012/12/10	2015/03/25	2013/09/09	2019/08/23
10,000円	11,280円	9,631円	11,186円34銭

(為替市況)

信託期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

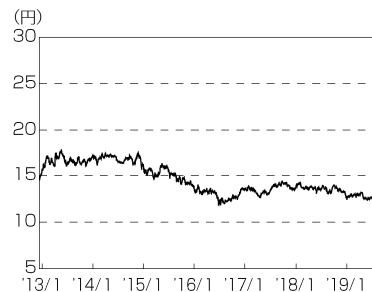
円／オーストラリアドルの推移



円／カナダドルの推移



円／ノルウェークローネの推移



ポートフォリオ

世界各国の長期債利回り、短期金利の水準、投資可能な銘柄やその流動性を考慮してポートフォリオを構築しました。

為替ヘッジあり部分の70%、為替ヘッジなし部分の30%の両方について、期間を通じてカナダ、ノルウェー、オーストラリアを投資対象としました。期間中、長期金利の水準に合わせて各通貨の投資比率の調整を行いませんでした。

また2019年8月に繰上償還となることが決定したことから、2019年7月末に円キャッシュのみを保有する安定運用に切り替えました。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年11月2日～2019年8月23日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 19	% 0.172	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(19)	(0.171)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	19	0.172	
期中の平均基準価額は、10,946円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2018年11月2日～2019年8月23日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	カナダ	国債証券	千カナダドル 100	千カナダドル 678
	ノルウェー	国債証券	千ノルウェークローネ 9,525	千ノルウェークローネ 17,262
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 849	千オーストラリアドル 1,846

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○ 利害関係人との取引状況等

(2018年11月2日～2019年8月23日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 31	百万円 31	% 100.0	百万円 31	百万円 31	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年11月2日～2019年8月23日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2019年8月23日現在)

2019年8月23日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2019年8月23日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	173,806	100.0
投資信託財産総額	173,806	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2019年8月23日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	173,806,955
コール・ローン等	173,806,955
(B) 負債	681
未払利息	681
(C) 純資産総額(A-B)	173,806,274
元本	155,373,624
償還差益金	18,432,650
(D) 受益権総口数	155,373,624口
1万口当たり償還価額(C/D)	11,186円34銭

(注) 当ファンドの期首元本額は212,344,832円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は56,971,208円です。

(注) 2019年8月23日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・はまぎん高格付国債ファンド(為替ヘッジ70) 155,373,624円

(注) 1口当たり純資産額は1.118634円です。

○損益の状況 (2018年11月2日～2019年8月23日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	3,019,693
受取利息	3,026,368
支払利息	△ 6,675
(B) 有価証券売買損益	8,196,114
売買益	24,801,266
売買損	△16,605,152
(C) 保管費用等	△ 364,890
(D) 当期損益金(A+B+C)	10,850,917
(E) 前期繰越損益金	13,592,052
(F) 解約差損益金	△ 6,010,319
償還差益金(D+E+F)	18,432,650

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2018年11月2日から2019年8月23日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当社ホームページにおいて、より高い安全性を確保するためのセキュリティ対策としてHTTPS化を実施することに伴ない、当ファンドの信託約款における当社ホームページURLの表示を「www.nikkoam.com/」へ変更するべく、2019年2月2日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(第51条)